



1 6276Aa (原寸)  
直径18cm



2 6276Ab



3 6276Ac (原寸)  
直径18cm

### 顔は変われど<sup>はん</sup>範は変わらず

掲載した軒丸瓦は本薬師寺出土品です。1は端整な複弁蓮華紋軒丸瓦。3はいびつな細弁蓮華紋軒丸瓦。この両者、一見すると似ても似つかないが実は同範なのです。瓦の範（紋様をつけるための木型）は使い続けると摩耗するため彫り直しをします。ここに掲載した瓦も例にもれません。まず、1の範を2のように彫り直します。2では内側の圏線と弁・間弁の先端が一体化し、外側の圏線がなくなっています。次に、これを3のように彫り直します。このように範を彫り直すと瓦当紋様は変わります。しかし、範割れによって生じた傷は消えずに残ります。いくら範を彫り直しても傷はなかなか隠せません。完璧な整形手術は難しいものです。

ここで紹介した瓦や飛鳥・藤原地域の寺院や宮殿から出土した瓦は、飛鳥藤原宮跡発掘調査部の展示室に展示してあります。是非、実物をご覧ください。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部 小谷徳彦)